

平成三十一年

1月号

山岳救助隊 ニュース



埼玉県警察
山岳救助隊
秩父警察署
Tel.0494-24-0110
小鹿野警察署
Tel.0494-75-0110

本紙は埼玉県警察ホームページ【暮らしの安全 → 山岳情報 → 山岳救助隊ニュース】に掲載されています

平成30年【11～12月】埼玉県内の山岳遭難発生状況 件数8件9人（死亡2人・重傷3人・軽傷1人・無事3人）

発生日	山岳名	PT構成	年齢・性別	遭難状況等	死傷別
11月11日	琴平丘陵	2人	60代・男性	岩井堂付近で道に迷い、斜面を滑落	重傷
11月11日	両神山	4人	70代・男性	登山中、体調不良により倒れ込み行動不能	死亡
11月16日	横瀬二子山	単独	60代・女性	下山中、浅間神社付近の岩場においてバランスを崩し滑落	重傷
11月18日	両神山	単独	50代・男性	下山中、道に迷い登山道に復帰するも日没により行動不能	無事
11月21日	鳥首峠	単独	60代・女性	入山直後に道に迷い、岩場から滑落	軽傷
11月27日	伊豆ヶ岳	2人	60代・女性 50代・女性	急遽ルートを変更し下山中、登山道から派生する尾根を誤って進行し道迷い	無事 無事
11月30日	日和田山	単独	60代・男性	クライミング中、登行器が正常に作動せず転落	重傷
12月29日	長瀨アルプス	2人	50代・男性	風に飛ばされた帽子を取るため急斜面を下降中に滑落	死亡

道迷いの防止 ～登山地図とアプリの併用～

近年、スマートフォンの普及により様々な登山専用地図アプリがスマートフォン等で入手できますが、印刷された市販の登山地図と比べてのメリット、デメリットを理解し、双方を併用することにより道迷いを防ぎましょう。

1 市販の登山地図

登山地図は、安全な場所でコンパスを利用しながら休憩の時や目標となる地点を通過した際、常に自身の現在地と今後のルートを確認しましょう。

○ メリット

登山地図は、一度に広範囲を見ることができルートを把握したいときや複数人で確認するときに便利。

○ デメリット

登山地図だけでは方角がわからないため、コンパスの使用や地図読みの技術が必要となりますが、「目標物や特徴的な地形がない場所」、「霧で視界がない状況」等により、道に迷った場合は、登山地図とコンパスだけでは現在地を特定することが困難。

2 登山専用地図アプリ

現在、スマートフォン等で入手できる登山専用地図アプリは、「無料（有料）でダウンロードできるもの」、「登山届システムと連動したもの」等様々な種類がリリースされていますが、自身にとって活用しやすい登山専用地図アプリでルートを確認しましょう。

○ メリット

多様にわたる登山専用地図アプリの中で共通した利点は、事前にインターネットの繋がる環境で地図をダウンロードしておけば、たとえスマートフォン等の電波が届かない通話圏外にいたとしてもGPSによって現在地や標高、自分の進行方向（方角）がわかるため、道迷いの防止、道迷いからの登山道への復帰が便利。

○ デメリット

アプリを常時起動中やスマートフォンの通話圏外にいる場合は、バッテリーの消費が早くなるため、登山中はスマートフォンを機内モードに設定し、無駄な使用は控えるなどバッテリーの消費を抑えるとともに、不測の事態に備え、予備バッテリーの携行や防水、落下防止の措置が必要。

3 登山地図と登山専用地図アプリの併用をしましょう。

双方のメリット、デメリットを理解して補いながら使用することが道迷いの防止に役立ちます。どちらを使用するにしても地図読みやコンパスの使用法を熟知して、不測事態に対処することが、登山において必要であり、必ず身につけるようにしましょう。また、周囲の安全を確認し必ず立ち止まった状態で地図の確認をしましょう。

冬山の山岳遭難の防止

● 朝早い時間に出発し、目的地に早く到着（早出早着の基本を守る）

早い時間帯での下山や目的地にゆとりを持って到着できるように、時間に余裕のある行動を心掛けてください。特に樹林帯の中では、日没時刻よりも早く暗くなります。万が一周囲が暗くなってきた場合は、必ずヘッドライトを点灯して行動してください。

秩父市内	日の出	日の入
1月10日	6時55分頃	16時48分頃
1月20日	6時52分頃	16時57分頃
1月30日	6時47分頃	17時08分頃
2月10日	6時37分頃	17時19分頃
2月20日	6時26分頃	17時29分頃
2月28日	6時16分頃	17時37分頃

● 予想外の天気、気象遭難に注意

麓は雨でも、山頂付近では降雪の場合があります。

事前に天候情報を収集して天候の悪化が予想される場合は、登山の中止又は延期を検討してください。

● 万全な装備と寒さ対策

日帰り登山でも、ヘッドライトや十分な食料を用意するなど、万が一の場合に備えてビバーク（緊急時に野宿すること）することができる装備を準備してください。また、標高が100メートル上がるごとに気温は約0.6度下がると言われているため、防寒着を確実に準備してください。

低温下では、携帯電話や照明具の電池類の消耗が早まります。使用する際に「電池切れ」という不測の事態に備え、寒冷地に強い電池の準備や予備電池の保温対策を施してください。

● 登山道の凍結に注意

確実にアイゼンを携行し、わずかな凍結区間であっても、こまめにアイゼンの着脱を行ってください。凍結箇所が落ち葉で埋まれていると凍結に気が付かず転滑落する危険があるため、特に日当たりの悪い場所では慎重に歩くようにしてください。

● 登山届を必ず提出

登山届は、山岳遭難が発生したときに警察による捜索や救助活動を迅速に行うために活用するものです。

「低山や日帰りの計画だから大丈夫」等といった自信は遭難の元です。自分だけは絶対に遭難しないという保証はありません。万が一の場合に備え、登山届を提出してください。

登山届は、登山する山を管轄する警察署や交番、登山ポストに提出し、家族や職場にも登山届の写しを渡しておきましょう。



思わぬ凍結箇所に注意

携帯版 登山届

★携帯電話の電波が入る場所で、いつでも登山届を提出することができます。

★届出の内容は必要最小限を入力するものです。

★埼玉県内の山登り等を計画している方は、ぜひご利用ください。

スマートフォン用
QRコード



※ 注意 ※

携帯版登山届はスマートフォンのみに対応しています。

- 従来型の携帯電話(フィーチャーフォン)
 - Android 4.4 以前のスマートフォン
 - iOS 4 以前のスマートフォン
- からはご利用になれません。

隊員のつぶやき...

登山道に落ち葉が覆い被さり、氷や岩、段差等が隠れています。
危険が予測される場所では一步一步慎重に進みましょう。
わずかな油断が山岳遭難を引き起こします。